

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(例)

【学 年】 小学校第 6 学年

【単元名】 We Can 2 Unit 2 Welcome to Japan (8 時間扱い)

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
2 (1) ア(ウ)語や句, 文における基本的な強勢	2 (2) ア 身近で簡単な事柄について, 伝えようとする内容を整理した上で, 簡単な語句や基本的な表現を用いて, 自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり : 自分にとっての My hero を紹介した。(WC1 Unit 9)  
 ・ 第三者を紹介するときの表現を学んだ。  
 ・ 写真を用いて, 聞き手の反応を確かめながら My Hero を紹介した。

働かせる見方・考え方 : 相手に配慮し, 情報を整理しながら考えを形成し, 再構築すること。

時間	学習活動 (時間)	留意点
1 2	1 オリエンテーション (2) ・ ALT の国の行事や食べ物について聞き, 単元の内容と Lesson Goal を知る。	<b>単元の見通しをもつ場面</b> ・ ALT のモデルをもとに, 単元終末の活動のイメージをもちます。
<b>Lesson Goal : 日本の行事や食べ物などについて ALT の先生に伝えるように紹介しよう</b>		
3 4	・ スリーヒントクイズを聞いて, ヒントに合う行事や食べ物を考えて発表する。 2 日本を紹介するための表現を理解し, 練習する (2) ・ ポインティングゲームや Let's Chant, Let's Watch and Think 2, 3 を通して, You can enjoy ~ の表現の使い方を理解する。 ・ キーワードゲームやビンゴゲーム, Let's Watch and Think 5, 6 を通して, We have ~ の表現に慣れ親しむ。	<b>伝え合うために必要な表現を練習する場面</b> ・ 音声による慣れ親しみを大切にし, 理解につなげるようにします。 ・ 様々な活動を通して, 練習するようにします。 ・ Let's Watch and Think で伝える内容や場面について理解を促します。
5 6	3 日本の行事や食べ物などをグループで出し合い, ALT に伝えるように紹介する (2) ・ 好きな日本の行事とその理由をトピックに Small Talk を行う。 ・ グループ活動の際, ALT に伝えることを意識するように促す。	<b>考えを形成し, 再構築する場面</b> ・ グループ内で実際に紹介し合うようにします。 ・ ALT に伝えるために必要なポイントをグループ内で出し合います。 ・ 本時の活動を振り返り, 次時に修正したいことを考えられるようにします。
7 8	4 ALT に伝えるように紹介する (2) ・ ALT に日本文化について伝える。 ・ 単元の振り返りをする。	<b>単元通しての自己の学びを振り返る場面</b> ・ 前時の課題を踏まえ, ALT に実際に伝えるようにします。 ・ オリエンテーションのときの自分と比較してどのような変化があったか, 単元を振り返るようにします。

次単元へのつながり : 自分たちの町について発表し合う。(Unit 4)

・ 地域にどのような施設があるのか, また欲しいのかを聞いたり言ったりすることができる。